

トップ選手と児童交流

世界一の技 間近に

宝塚 あすキンボール大会

でつなぎ、得点を争う競技。今月、宝塚市でW杯が開催される予定だったが、福島第1原発事故による放射能汚染を恐れた参加国の辞退が相次ぎ、開催地がフランスに変更された。

代わりに日本、カナダ、中国、韓国の4カ国が参加するパン・パシフィックカップを開くことになった。12、13日にはジュニアや一般など計92チームが参加する全国大会も行われる。

大会開催に先立ち、11日には市内の小学校で各国代表との交流会が行われ、市立山手台小学校には10月の

W杯で男女とも優勝したカナダチームが訪問。5、6年生の児童約170人に模範競技を披露したり、一緒にドッジボールを楽しんだりした。

また、同校のチームも全国大会に出場するため、カナダ選手との合同練習も行われた。児童らは間近で見る世界一の技に感心し、アドバイスに耳を傾けていた。6年生の玉置晴加さん(12)は「こつを教えてもらったので、大会では優勝したい」と意気込んでいた。カナダの選手らも「大会へ向けて子供たちからパワーをもらうことができた」と笑顔を見せていた。

巨大なゴムボールを使用するスポーツ「キンボール」の国際大会「第1回パン・パシフィックカップ」が13日に宝塚市のスポーツセンター総合体育館で開かれる。同市で開催予定だったワールドカップ(W杯)の中止に伴い企画された。11日には各国の代表と市内の小学生による交流会も行われた。

キンボールはカナダで生まれた直径1・2メートルの特大ゴムボールを1チーム4人



カナダ選手とキンボールを楽しむ児童—宝塚市